

主日礼拝

2026年10月25日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「わたしたちの助けは
天地を造られた主の御名にある。」
(詩編 124:8)

頌栄 27 「父・子・聖霊」



ち ち 子 せ い れ い の ひ と り の ま ー、 さ か え と ち
か ら は た ー だ ま に あ れ ー、 と こ し え ま で ー。
ア ー メ ン。

交読詩編 148:1～6

一 同：ハレルヤ

司式者：天において

会 衆：主を賛美せよ。

司式者：高い天で

会 衆：主を賛美せよ。

司式者：御使いらよ、こそって

会 衆：主を賛美せよ。

司式者：主の万軍よ、こそって

会 衆：主を賛美せよ。

司式者：日よ、月よ

会 衆：主を賛美せよ。

司式者：輝く星よ

会 衆：主を賛美せよ。

司式者：天の天よ

天の上にある水よ

会 衆：主を賛美せよ。

司式者：主の御名を賛美せよ

会 衆：主は命じられ、すべてのものは創造された。

司式者：主はそれらを世々限りなく立て

会 衆：超ええなない掟を与えられた。

賛美 205 「今日は光が」

This is the day of light
詞：John Ellerton, 1826-1893INNOCENTS (ALL SAINTS)
曲：The Parish Choir, 1850


1 きょう う は ひ か り が つ く ら れ た 日 よ、
2 きょう う は ひ せ い な が る あ ん そ く の 日 よ、
3 きょう う は ひ へ い い わ み が に ち あ い れ る 日、
4 きょう う は ひ ま か ん も も ふ れ る 日、
5 きょう う は ひ ま い ス の と み が え り の 日、
や み の な か に も 「ひ か り か に が や け」。
つ か ら れ たい こ こ ろ ぐ あ な ら た し さ れ る。
こ こ ろ を た か く な み ま え に あ げ よう。
わ れ ら を 生 か す あ い を た た え よ。

- 1 きょう ひかり つく ひ 3 きょう へいわ み 満ちあふれる日、
今日は光が 造られた日よ、 3 今日平和が 満ちあふれる日、
闇の中にも 「光かがやけ」。 あらそい騒ぐ 波もしずまる。
2 きょう せい あんそく ひ 4 きょう かみ とも いの ひ
今日は聖なる 安息の日よ、 4 今日神に 共に祈る日、
つか ころ あら 心を高く み前に上げよう。
疲れた心 新たにされる。 心を高く み前に上げよう。
5 きょう しゅ よみがえりの日、
今日は主イエスの よみがえりの日、
われらを生かす 愛をたたえよ。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」



キ リ エ ・ エ レ イ ソ ン、 キ リ エ ・ エ レ イ ソ ン、
主 よ、あ わ れ み を。 主 よ、あ わ れ み を。
キ リ エ ・ エ レ - イ ソ ン。
主 よ、あ わ れ - い み を。

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン

主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

聖書 ヨブ記 38：1~18

旧約(新共同訳)P826~P827

1 主は嵐の中からヨブに答えて仰せになった。
 2 これは何者か。
 知識もないのに、言葉を重ねて
 神の経綸を暗くするとは。
 3 男らしく、腰に帯をせよ。
 わたしはお前に尋ねる、わたしに答えてみよ。
 4 わたしが大地を据えたときお前はどこにいたのか。
 知っていたというなら理解していることを言ってみよ。
 5 誰がその広がりを選んだかを知っているのか。
 誰がその上に測り縄を張ったのか。
 6 基の柱はどこに沈められたのか。
 誰が隅の親石を置いたのか。
 7 そのとき、夜明けの星はこぞって喜び歌い神の子らは皆、喜びの声をあげた。
 8 海は二つの扉を押し開いてほとばしり母の胎から溢れ出た。
 9 わたしは密雲をその着物とし濃霧をその産着としてまとわせた。
 10 しかし、わたしはそれに限界を定め二つの扉にかんぬきを付け
 11 「ここまでは来てもよいが越えてはならない。高ぶる波をここでとどめよ」と命じた。
 12 お前は一生に一度でも朝に命令し
 曙に役割を指示したことがあるか
 13 大地の縁をつかんで
 神に逆らう者どもを地上から払い落とせと。
 14 大地は粘土に型を押していくように姿を変え
 すべては装われて現れる。
 15 しかし、悪者どもにはその光も拒まれ
 振り上げた腕は折られる。
 16 お前は海の湧き出るところまで行き着き
 深淵の底を行き巡ったことがあるか。
 17 死の門がお前に姿を見せ
 死の閻の門を見たことがあるか。
 18 お前はまた、大地の広がりをも隅々まで調べたことがあるか。
 そのすべてを知っているなら言ってみよ。

賛美 58「み言葉をください」

詞：今駒泰成、1926—2013

曲：小山章三、1930—2017



- 1 ^{ことば}み言葉をください、
^{ふりそそぐ}降りそそぐ雨のように、
^{めぐみの}恵みの主よ。
 飢えと渇きに あえぎくるしみ、
 やみじさすらう
 いのちのために。
- 2 ^{ことば}み言葉をください、
^{ふくかぜ}吹く風のように強く、
^{すくい}救いの主よ。
 からみつく罪 根こそぎされて、
 いのちあらたに
 芽生えるために。
- 3 ^{ことば}み言葉をください、
^{くさ}草におく露のように、
^{いのち}いのちの主よ。
^{ひと}人と人との ころかよわず、
^{みだ}乱れあらそう
 世界のために。

説教 「必死の問いへの答え」

賛美 529「主よ、わが身を」

Make me a captive, Lord
 詞：George Matheson, 1842—1906

LEOMINSTER
 曲：George W. Martin, 1828—1881



- 1 ^{しよ}主よ、わが身を ^{とら}とらえたまえ、
^{さらば}さらばわがころ ^{はな}解放たれん。
 わが剣を ^くくだしたまえ、
^{さらば}さらばわが仇に ^{うち}打ち勝つをえん。
- 2 わがころは ^ささだかならず、
^{吹く}吹く風のごとく ^たたえずかわる。
 主よ、御手もて ^ひひかせたまえ、
^{さらば}さらば直き道 ^ふふみ行くをえん。
- 3 わがちからは ^よよわく乏し、
^暗暗きにさまよい ^道道になやむ。
 きよき風を ^送送りましたまえ、
^{さらば}さらば愛の火は ^内内にぞ燃えん。
- 4 わがすべては ^{しよ}主のものなり。
 主はわが喜び、また幸なり。
 聖霊もて ^満満したたまえ、
^{さらば}さらば永遠の ^{やす}やすきを受けん。

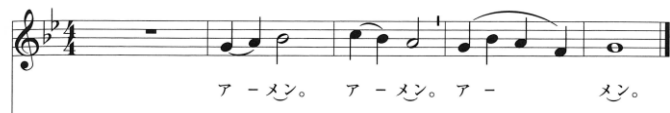
派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」

会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



後奏

司式：山野上 純子
説教：向井 希夫牧師
奏楽：大代 恵